

# 予算審査特別委員会の審査から

予算審査特別委員会  
鶴見 和弘 委員長



## 総務費

### ▼2款1項7目 企画費

**問** グランピング施設整備工事費1,628万4千円について、事業内容の説明を求める。

**答** グランピング施設利用者から要望の多いトイレの設置工事費として987万8千円、施設利用者がスマートフォンやタブレットを利用する場合に無料で安定した通信環境を提供するためのWi-Fiアンテナ設置工事費として211万6千円、施設利用者の安全性を確保するためチャットパレス本館の防犯カメラ更新と併せて5棟のドームテント及びチャットパレスの出入り口を対象とした防犯カメラ設置工事費として429万円を予定している。

## 民生費

### ▼3款1項1目 社会福祉総務費

**問** 手話通訳奉仕員養成事業費が78万2千円計上されているが、令和4年度は何人を養成し、どのような時に協力してもらうのか。

**答** 手話通訳奉仕員養成事業については、真岡市社会福祉協議会に委託しており、定員15名を養成する費用となる。

養成後は、真岡市社会福祉協議会内の手話サークルに登録し、視覚障がい者団体の活動に協力するなど、各種ボランティアで活動いただいている。

## 農林水産業費

### ▼6款1項3目 農業振興費

**問** 「イノシシ捕獲報償金」が令和3年度の45万円から75万円に増額（30万円増）した。1頭あたりでみた場合、国、県、市の支出は、それぞれいくらか。

**答** 1頭当たりのイノシシ捕獲報償金は、1万3千円で、その内訳は、国が8千円、県が3千円、市が2千円である。

予算計上した報償金75万円は、県及び市の支出額であり、国費分は、真岡市鳥獣被害防止対策協議会が、直接、受け入れ、捕獲従事者に支払うので、市の予算には反映されていない。

## 土木費

### ▼8款1項1目 土木総務費

**問** 空き家バンク補助金が年々増額している理由を伺う。

**答** 空き家バンク事業については、利用促進を図るため、固定資産税等納税通知書にパンフレットを同封することや、広報紙、いちごテレビ等によるPRを積極的に行うことに加え、令和2年度に家財道具処分補助及び引越補助を追加し補助制度の拡充を図ったことから、成約数が増加傾向にあるため増額するものである。

## 教育費

### ▼10款1項3目 教育振興費

**問** 「学校運営協議会委員報酬」として16万円が計上されているが、16名の委員は、どういう立場の人物が就くことを想定しているのか。

**答** 委員には、校長をはじめ、PTA会長や後援会長、学校と地域の連絡調整を行う地域コーディネーター、区長、民生委員、学校支援ボランティアの代表など、学校・保護者・地域の代表16名が就任する予定となっている。

# 議案に対する討論

## 討論を行った議案

### 第25号から第33号までの 令和4年度予算

予算審査特別委員会で審査した  
令和4年度予算の内容について、  
定例会最終日に討論を行いました。  
討論の主な内容を掲載します。



予算審査特別委員会



飯塚 正 議員

このような理由で  
令和4年度予算に  
反対・賛成しました



星野 守 議員

## 反対 日本共産党

一般会計では、総務費において自衛官募集事務を行っている点、民生費において敬老会開催事業・ミニデイホーム事業・井頭温泉招待事業の対象年齢を「70歳から」へ戻すべきであるが後退したままである点、子ども医療費無料化を高校3年生まで拡充していない点、衛生費において新型コロナウイルス感染症対策としてPCR検査・抗原検査の拡充が不十分である点、商工費において工業振興対策として企業誘致の促進を図るための補助を行っている点、土木費において市道や準用河川・用排水路整備の予算が不十分である点、教育費において奨学資金貸付事業が給付型制度になっていない点、小中学校給食費の無料化が図られていない点が反対の理由である。

特別会計では、国民健康保険特別会計・介護保険特別会計において高い保険税・保険料となっている点、後期高齢者医療特別会計において国の定めた制度に従い高齢者を差別する事業会計である点。

水道事業会計・下水道事業会計では、使用料金に消費税を上乗せしている点が反対の理由である。

## 賛成 もおか令和会

情報教育環境整備の取組を高く評価する。豊かな語学力やコミュニケーション能力の育成、安全で安心な給食を提供するための計画的な施設整備に取り組んでいる。複合交流拠点施設の設計業務や工事の準備が進み、子育て支援の充実が図られている。男女ともに働きやすい社会環境整備を図る取組を高く評価する。新しいコミュニティバス路線の導入に向けた実証運行の取組も高く評価する。引き続き、高齢者や障がい者にも優しい、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。新産業団地の整備では、将来にわたる雇用の創出や人口減少の抑制に向けた取組が推進されている。新規就農者の育成支援や、いちごを核とした農業拠点整備の取組に対し、大いに期待する。すべての市民と関係者に優しい「ハイフレックス市役所」の実現に向けた取組を高く評価する。スポーツによる真岡の活力と魅力の創出に大いに期待する。

感染症対策については、迅速なワクチン接種体制の確保に取り組み、新型コロナウイルス感染症緊急対策資金の利子補給や感染拡大防止に向けた対策が図られており、引き続き適切な対応を期待する。

このように、若い世代を含めたすべての人が「真岡に住みたい、働きたい、子育てしたい」と希望を持ち、楽しさを実感できるまちの実現に向けた取組が十分に感じ取れる予算であると高く評価する。